



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

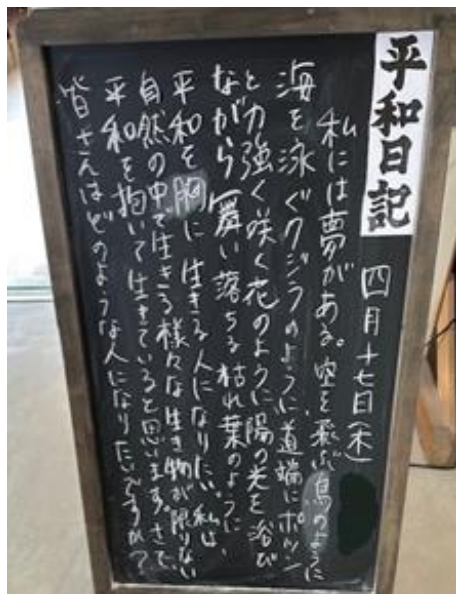
山里中学校だより

2025. 5. 14 号

文責 小森

「平和」について考える。

下の2枚の「平和日記」の掲示は、それぞれ異なる視点から「平和」について考える機会を与えてくれています。



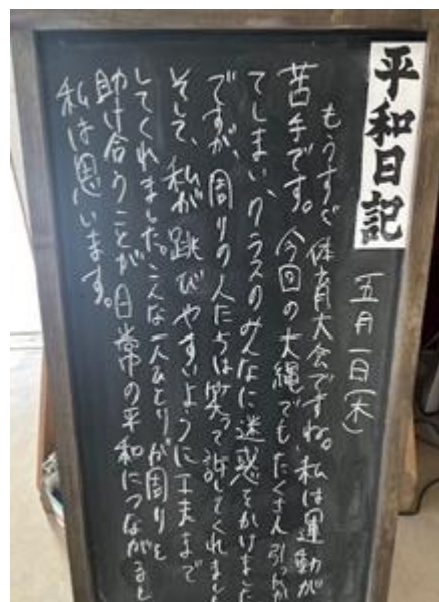
1枚目、4月17日の平和日記は、自然や生命の尊さと重ねながら、「平和の中で自然を抱いて生きる」ことの大切さを詩的に表現しています。命の儚さと尊さを見つめることで、平和の意味を深く考えさせられます。

2枚目、5月1日の平和日記は、日常の中の助け合いや思いやりを通して、平和を築くことができるという実感が綴られています。運動会の経験をもとに、「周りを思いやることが日常の平和につながる」というメッセージが心に響きます。

どちらも、「平和」というテーマを自分の言葉で捉えている点がとても良いと思います。掲示

を通して、生徒一人一人の視点や思いが共有され、見る人の心に残る素敵な発信だと思います。

このような掲示は、昨年度から平和部の取組として学校の生徒玄関に設置されています。登校時や下校時、多くの生徒が目にする場所にこうした「平和日記」を掲示することで、日常の中で自然と「平和」について考えるきっかけになります。共感や刺激を受け、自分自身の考えや感じ方を深めることにもつながりそうです。学校全体で「平和」を大切にする雰囲気づくりにも貢献しているとても素敵な取組です。



5月11日(日)

体育館に響いた、全力と団結の鼓動



夏の始まりを感じる季節となりました。先日、令和7年度体育大会を開催いたしました。今年度は天候や諸事情をふまえ、本校としては初めて体育館での実施となりました。屋外とは異なる制約がある中での大会でしたが、生徒たちはその変化を前向きに受け止め、限られた空間の中でも力強く、そして堂々と競技に取り組む姿

を見せてくれました。



走る、跳ぶといった基本的な動作の中にも、生徒一人一人の「本気」が込められており、その熱意は体育館中に確かに伝わっていました。競技中の真剣なまなざし、ミスをしてもしなう姿、勝敗を超えて湧き上がる拍手、どの場面にも、仲間との絆とこれまでの練習の積み重ねがにじんでいました。

また、会の運営を支えた生徒会や美術同好会、前日準備を手伝った部活動の生徒たち、各係の生徒たちの活躍も光りました。限られた時間と空間の中で、安全で円滑な大会を実現するために、自ら考え、動く姿には大きな成長が見られました。成功の裏には、そうした「見えない努力」があったことを改めて感じさせられました。

今回の体育大会は、生徒たちにとって大きな挑戦であり、貴重な学びの場となりました。自分の限界に挑戦すること、仲間と力を合わせることに、そして何より、日常とは違う状況の中でも「できることを工夫してやり抜くこと」。これらの経験は、今後の学校生活や人生において、きっと大きな支えとなってくれることでしょう。

最後に、本大会の実施に際し、ご理解とご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様にご心より感謝申し上げます。これからも山里中学校の教育活動に、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



学校ホームページの「学校行事【学校生活】」でも体育大会の様子を公開しております。

<https://www.nagasaki-city.ed.jp>yamazato-i>

その他にも学校の情報を記載していますのでご覧ください。